



大正白稜

PTA新聞「大正白稜」第103号

大阪府立大正白稜高等学校
PTA広報委員会

〒551-0031

大阪市大正区泉尾3丁目19番50号

TEL.06-6552-0026

FAX.06-6552-9798

祝 卒業

PTA会長
竹本雅子

一期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。そして保護者の皆様には心よりお喜び申し上げます。

お子様のご卒業を迎えるにあたり今までの様々な思い出が走馬灯のように駆け巡っているのではないのでしょうか。



校長
藤原隆志

未来へ羽ばたけ!

一期生のみなさん、卒業おめでとうございます。栄えある一期生として3年間の高校生活を終え、新たなステージに向かって飛び出していくみなさんを、心から祝福したいと思います。今年度はコロナ禍の中での制限の多い最後の高校生活になりました。みなさんには我慢を強いることになりましたが、みんなで協力し、後輩たちを引っ張りながら、体育祭や文化祭などの行事を盛大なものにしてくださいました。本当にありがとうございます。

さて、卒業生の皆さんは、自分が今まで積み重ねてきたことの延長線上に卒業があり、さらにこれから入社や大学・専門学校等の入学式が控えていることと思います。人生は、リセットすることはできませんが、軌道修正や、やり直すことはできます。その時に、今までの努力が消えることもありませぬし経験が無駄になることもありませぬ。ただ、時間を戻すことができませんので今以上に一日一日を大切に過ごして欲しいと

思っています。そして、新しい世界でのさまざまな経験は、貴重な財産となります。いろいろな事にもチャレンジして下さい。チャンスがどこかに転がっているかもしれないよ。チャンスを逃さないように日々の努力の継続も忘れないように、そして、何よりも自分自身を大切にこれからの人生を歩んでください。長くなりましたが、私からははなむけの言葉とします。

考えた。
・考える力
・チームで働く力(協働)
・踏み出す力
・創造する力
この4つの力、しっかりと身につけていましょうか。今回のコロナ禍の影響で、少し先行きが見通せない社会になっていますが、大学生になっても社会人になっても、この4つの力を発揮して自分自身を成長させ、次の夢の実現に向け、未来へ羽ばたいてほしいと思います。本校で3年間学んだ一期生のみなさんなら必ずできると思います。
終わりに、病気のため若くして亡くなられたアスリートの言葉をおみなさんに送ります。
弱気は最大の敵
これは、プロ野球広島東洋カープの投手であった津田恒実選手の話です。炎のストッパー、と呼ばれ、活躍されていました。みなさんのご両親なら、聞き覚えがあるかもしれません。津田選手はストレートを武器にして打者に真っ向勝負をしていました。しかし、気が弱いところもあって、たまに変化球を投げた打たれてしまい、逆転負けを喫することもありました。つい弱気になった自分を後悔していました。それで、この言葉を肝に銘じ、また帽子にこの言葉を書き込んで、自分を強気にし、打者に向かっていったそうです。弱い気持ちで物事に望めば、良い結果は生まれないので、強い気持ちが必要です。「弱気は最大の敵」という言葉、これから覚えていくれたら、うれしいです。

最後に、「自分のことは自分でやる。自分で未来に近づこう。」をいつまでも忘れないでください。未来に向かって歩み成長したみなさんといつの日かまた会えることを楽しみにしています。三年間本当にありがとうございます。どうかいつまでもお元気で。

自分で未来に近づこう

学年主任
岡鼻正敏

三年生になり、人生の中で進路について最もよく考える時期に、緊急事態宣言が発令されました。誰もが不安のまま新学期がスタート。「こんなはずじゃなかった。」と思うことも多かったはずですが、しかし、何事にもチャレンジする一期生魂で、ここぞとばかりに一致団結した応援合戦「体育祭」、クラス一丸となったハクコレ「文化祭」。この勢いそのまま臨んだ就職試験や受験。これらの経験を生かし、どんな状況でも投げ出さずに努力し挑戦することを惜しまないでほしいと思います。

卒業おめでとう

三年一組担任 前橋 一海

みなさん、ご卒業おめでとう
ございます。

学校という閉鎖的で守られた
社会からは「自由」になります
ね。自由な世の中は想像を絶す
る広さなのでしょう。

「いい人生とはこうだ！」と
いった「物語」はもう存在せず、
誰もあなたに提示することはで
きません。

自分とは何か。自分の居場所
はどこか。あなたの幸せとは、
常に自問自答しながら、その時
のその場所での「こたえ」を出
さなければなりません。

また、自分で出した「こたえ」
と現実や他者とは必ずズレが生
じることでしょう。そのズレ、
違和感、変だな、苦しいな、そ
ういったものと上手に折り合い
をつけていくことも必要でしょ
う。特に他者の心は、絶対にわ
からないし、支配できない。

複雑怪奇な世の中で、あなた
は常に価値観を磨き上げて生き
ていかなければなりません。私
が常々「本を読もう」「音楽を
聴こう」「美術館に行こう」と
言ったことを思い出してくれる
と有難いです。

人とは分かり合えないし、現
実はあなたに厳しい。
それでもなお、世の中は広い
し、生きることは楽しい。

三年二組担任 丸 佳子

私たちの指で空に文字を書
こう 青春という字を大阪の空
に 子どもでもなく大人でもな
い 不思議な時間の中で 止ま

っていてはいけない 泉尾の地
で共に学ぶ 大正白稜高等學校
で

この大正白稜高校校歌の歌詞
にあるように、皆さんは高校3
年間、思い切り青春できました
か。友だちと笑ったり、泣いた
り、ぶつかりあったり、悩んだ
り、励まし合ったり・・・人との
関わりの中で学んだことが数
多くあったことでしょうか。

私は、授業や行事のさまざま
な経験の中で、皆さんの成長や
良さを発見できることが楽し
みでした。それは、優しさや思
やり、頼もしさ、物作りの器用
さなどです。今年度の行事は、
新型コロナウイルス感染拡大の
恐れから開催が危ぶまれました
が、行うことができてよかつた
と思います。やはり、行事を通
して皆さんの成長を感じること
や新たな良さを発見することが
できたからです。校歌の歌詞に
あるように、止まっていたはい
けないことを実感しました。
若さとパワーに溢れている皆さ
んは、できる可能性を十分に持
っています。

「面倒だからしよう」と、あ
る作家の言葉が心に響いたこと
があります。人は皆、面倒なこ
とを避け、自分中心に生きよう
とする傾向があります。面倒で
もする人、自分の怠け心と闘っ
た時に、自分らしさや良さが生
まれます。社会に歩み出す一期
の皆さん、面倒なことにもチャ
レンジ！やり続けよう！少しづ
つでも頑張つて、すてきな大人
に近づいてください。
ご卒業おめでとうございます。

三年三組担任 山内 隆博

一期生の皆さん、卒業おめで
とうございます。大正白稜高校
での三年間はどうか？振り
返れば「最高」でしたか？こ
れからも勉強は大切ですが、人
柄も大事にしてください。人を
思いやる気持ちを忘れずに、決
してめげることなく強く逞しく
そして凜々しく生きて下さい。
最後に私がいつも支えにして
いる言葉を送ります。

多くの人は皆「私には才能が
ないから出来ない」と言つて諦
めてしまつています。でも、本
当は素晴らしい才能を持つてい
ます。それは「努力する」とい
う才能です。努力することは誰
もが持っている素晴らしい才能
です。私はそれをどんな時も発
揮し続け、皆で助け合えば何で
も「出来る」と信じています。
皆さんも是非、いつまでも「努
力する」ことを怠らずに人生を
楽しんでください。「努力する」
という才能の芽に水をやり続け
光り輝く素晴らしい人生を送り
社会に大いに貢献してください。
皆さんの活躍を楽しみにしてい
ます。

三年間ありがとう。
何やかんやいうておもしろかつ
たわ！
また、会いましょう。

三年四組担任 曾田 智世

皆さん、ご卒業おめでとうござ
います。様々なことがあつた
3年間でしたね。ここで、私の
昔について少し話してみよう
と思います。小さい頃、私の夢は、
天文学者になつてプラネタリウ
ムを作ることでした。十歳の頃

母の影響で、コンピュータで
様々なシステムを作る。システ
ムエンジニアになることが夢
になりました。その夢は次第に
膨らみ、「どうやって、コンピ
ュータが動いているのか」知る
ために、大学へ進学し、卒業後
はシステムエンジニアとして働
くのだと、大学4年生まで信じ
て疑いませんでした。ところが
大どんでん返しがおこり、なぜ
か今、教員として、担任として、
皆さんと一緒にこの厳しい世の
中を生き抜いています。人生は
自分の思う通りにいかないこと
がたくさんあります。それが良
い方向のものも、悪い方向のも
のがあります。時間は止まつて
くれません。さあ、時間が来ま
した。準備はいいですか？人生
の列車は止まりません。良い旅
になることを心から祈つていま
す。

三年五組担任 前木場 由希

一期生の皆さん、ご卒業おめ
でとうございます。突然ですが
私が教訓にしている言葉を紹
介させていただきます。
20代で汗を流さなければ
40代で涙を流す
30代で知恵を出さなければ
50代で部下がいなくなる
40代で人脈がなければ
60代で仕事がなくなる
50代で人望がなければ
70代で孤独になる
60代で希望がなければ
80代で後悔する
70代で夢があれば
90代で歴史に残る
これは極端な話です。ほと
んど体験していないので正しい
かどうかはわかりません。です

が私は、10年後どうなつていた
いかの目標を決め、どのように
努力するか計画を立て、挑戦
し続けていきたいと思つていま
す。10年後か20年後か、お互い
に成長した姿で再び出会えれば
ステキなことだと思います。
三年間本当にありがとうございました。
この出会いに感謝し
て、皆様の今後のご活躍を心か
らお祈り申し上げます。

三年六組担任 森井 辰典

一期生の皆さん、ご卒業おめ
でとうございます。大正白稜高
校の最初の卒業生として送り出
せることをうれしく思います。
今年度は大変な一年間で、長い
休校が終わつてからすぐに進路
について考えなければならず落
ち着かない日々を送つたこと
と思います。様々な行事や予定が
変更される中、今年度乗り越
えることができた皆さんは今後
出会う困難も乗り越えていける
でしょう。

授業では理科を担当し、科学
技術や生活の変化などにも触れ
てきました。この先十年後には
さらに変化しているかと思いま
す。様々な情報もスマートフォン
等ですぐに手に入る時代です
が、世に出回っている情報がす
べて正しいとは限りません。そ
れが本当に正しいのか？根拠が
あるのか？それを見極め、時代
の先端を担う人になつてくだ
さい。
最後になりましたが、高校を
卒業した後はあつという間に時
間が過ぎていきます。多くのこ
とに出会い充実した日々を送れ
るよう祈つています。お元気で
お過ごしください。